

## 平成 29 年度事業計画

平成 27 年度から 2 年越しの最重点課題として取り組んできた会員増強対策は、役職員の努力と、会員の絶大な協力によって大きな成果を生み、平成 26 年度には 910 人まで落ち込んでいた会員数は、わずか 2 年足らずで再び 1000 人超えを達成いたしました。

平成 29 年度はこの勢いを維持しながら、次なる段階である事業拡大に本格的に着手いたします。健康の維持を基本に「仲間づくり」、「仕事づくり」、「楽しみづくり」を高い次元で達成することを平成 29 年度の目標に掲げ、次のような取り組みを精力的に行ってまいります。

「仲間づくり」のために、シニアパートナー制度、がんばるシニア応援企業宣言事業、各種退会抑制事業等に加え、会員が「仲間づくり」に参加できるよう、新入会員の紹介についてのポイント制度設立を目指して調査研究を行います。

また、「仕事づくり」のためには、平成 28 年度試験的に実施した坂本地域での就業開拓と会員拡大の事例を活かし、平成 29 年度は入会年齢となる高齢者と事業所数においてキャパシティの大きい千丁、鏡地域をターゲットとして集中的な就業開拓を行い、受注した仕事に就業できる地元の高齢者の入会を促進することにより、仕事と会員を同時に増やしてまいります。

「楽しみづくり」のためには、頑張るシニア応援企業宣言に賛同する協賛ホテルの拡充と併せて、会員一泊旅行の中身の充実を図ってまいります。また、がんばるシニア応援企業宣言の協賛企業の拡大を図りながら、同時に利用促進イベントを実施いたします。併せて他団体のグラウンドゴルフ大会等への参加等を通じて会員同士にとどまらず民間団体との交流を図り、多くの会員が積極的に社会参加できる環境づくりをめざします。

さらに、長年にわたって当センターの発展に貢献していただいた会員に心からの敬意と感謝を捧げると同時に、会員として第一線を退かれた後もボランティア活動等を通じて社会参加できる環境を構築することも、超高齢社会を支えるシルバー人材センターの重要な役割だと思います。そのために、会費負担を軽減するプラチナ会員制度に加え、各種イベントや会員活動の充実を図ってまいります。

事業面においては、高齢者活用・現役世代サポート事業を柱として、次の事業展開を図って参ります。

平成 28 年度から就業機会創出・拡大事業として開始した空き家・空地管理ワスタップサービス事業は、民間の組合等との協定を終え本格実施することにより、契約の拡大を図ります。

入会説明会用DVD制作事業は、平成29年度の受注もすでにいただいております、今後は事務系、電子技術系出身の会員の就業機会の拡大と自前財源の確保のため、全国のセンターに対してPR活動を積極的に行ってまいります。

平家味噌事業は確実なりピーターの定着により、従来どおり最高の品質と味を確保しながら生産を継続してまいります。

子育て支援事業の「行ってらっしゃいママプラン」では、預かっている子どもたちが平成29年4月から保育園等に入園するため、お母さんのヨガ教室は廃止し、子育て広場と一時預かり事業及び保育園・幼稚園での読み聞かせボランティアは継続して実施しながら、子育て中の母親世代を支援してまいります。

高齢者トータルアシストプランは、高齢者からの依頼も多く、収支バランスもとれていることから、従来どおり継続して事業を実施します。

げんき里村開拓事業は地元の会員を中心に立ち上げた農業法人に事業を引き継ぐ形での発展的解消により、今後は側面から当該法人を支援してまいります。限界集落として過疎化が進行していた地域の高齢者が、シルバー人材センター会員となって活力を取り戻し、自立した好事例として「発展的解消」という最高の形で結実したものです。

以上のような各種事業に積極的に取り組んできた結果、5年に及ぶ会員の減少に歯止めが効かなかった状況を、この2年間で劇的に改善し仕事の受け皿が確保できた今、平成29年度はこれまでの大きな目標であった契約額4億円を一気に超え、大いなる飛躍への年となるよう、会員・役職員一丸となって全力で取り組んでまいりたいと思います。

## 1.基本方針

- (1) 「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、会員主導によりシルバー人材センター事業の普及啓発活動を推進し、事業運営の適正化と集中的な就業開拓による事業の拡充を図る。
- (2) 定期的な未就業会員の状況把握と、会員一人ひとりの希望に応じたオーダーメイドの就業開拓を行うことにより、仕事と会員のミスマッチを解消する。
- (3) 安全対策を強化し、事故の撲滅を図る。
- (4) 事業拡大により、財政基盤の確保を図る。
- (5) 高齢者活用・現役世代サポート事業を柱として、派遣事業の拡充により適正就業の推進と会員の就業の場の確保を図る。
- (6) 新規会員の入会促進と退会会員の抑制により、大幅な会員の増強を図る。

## 2.実施計画

### (1) 広報活動

- イ、 会報「シルバー八代」を発行する。
- ロ、 市広報にセンターの広報記事を掲載する。
- ハ、 シルバー人材センター普及啓発促進行事を実施する。
- ニ、 関係機関と連携し、シルバー人材センター事業の普及啓発と就業開拓を積極的に行う。
- ホ、 ホームページの改修を行い、会員・市民への周知を図る。
- ヘ、 FMやつしろラジオCM、局地的な新聞折込チラシ等を利用して各種事業の普及啓発を図る。

### (2) 事業

- イ、 会員数 1,055 人、契約額 4 億 3,200 万円（請負・委任事業 3 億 8,200 万円、派遣事業 5,000 万円）、就業延人員 102,000 人日（派遣契約を含む。）、を目標として、会員に適した仕事の開拓を図る。
- ロ、 高齢者活用・現役世代サポート事業を活用し、派遣事業の拡大を図る。
- ハ 未就業者の定期的把握と職員間の情報の共有により、公平な仕事の配分を推進する。
- ニ、 地域就業機会創出・拡大事業に取り組む。
- ホ、 事業拡大と経費節減に取り組み、安定的な自主財源の確保を図る。
- ヘ、 シニアパートナー制度等を活用し、会員の大幅な増強を図る。
- ト、 モデル地域を指定し、集中的な就業開拓と会員拡大に取り組む。

### (3) 研修・厚生

- イ、 職員の研修を実施する。
- ロ、 新入会員等の研修を実施する。
- ハ、 会員の就業機会の拡大を図るために必要な技能講習を実施する。
- ニ、 派遣事業に就業する会員の健康診断を実施する。
- ホ、 会員の資質向上を図り、より良いサービスの提供と就業拡大のために、マナー全般に関する講習会を実施する。

### (4) 安全対策

- イ、 事故ゼロを目標に会員の安全就業を図る。
- ロ、 会員から事故報告書の提出を受け、会員個々の安全意識の高揚を図る。
- ハ、 安全就業推進員をおき、安全指導の徹底を図る。
- ニ、 安全だよりを発行し、情報の提供を行う。

ホ、安全就業を徹底するため次の計画を実施する。

計画内容	実施計画
安全指導パトロール	6回
安全大会	1回
交通安全講習会	1回

へ、車両運転業務における安全管理を強化する。

(5) 職業紹介事業

イ、有料職業紹介事業を行う。

ロ、仕事ネットに参加する。